



# 林産試ニュース

## ■ 森林技術賞を受賞します

利用部微生物グループの米山主査（機能）、宜寿次主査（きのこ）、原田研究主任の3名が、社団法人日本森林技術協会から「第57回森林技術賞」を受賞することになりました。

この賞は、森林技術の向上に貢献し、林業の振興に功績がある研究者等に毎年贈られるもので、今回の受賞は、これまで3名等で進めてきた『カラマツおが粉を利用可能とした道産きのこ新品種の開発と普及』が、きのこ産業の振興のみならず、地域資源であるカラマツの有効活用においても業績顕著であるとの評価を受けたものです。

なお、林業試験場の明石主査（鳥獣）も『エゾシカによる森林被害の防除・軽減に向けた研究と普及』で同賞を同時受賞します。表彰式は6月下旬に東京で行われる予定です。

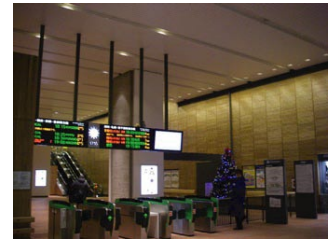


カラマツおが粉が利用できるキノコ品種  
左：ブナシメジ「マーブレ219」  
右：マイタケ「大雪華の舞1号」

## ■ 木材加工技術賞を受賞しました

性能部耐久・構造グループの河原崎研究主任が昭和木材株式会社の高橋社長とともに、公益社団法人日本木材加工技術協会から「第57回木材加工技術賞」を

受賞しました。新しいJR旭川駅に採用された防火タモ材を開発するなど、『防火木材の品質管理技術の開発』における業績が認められたものです。5月30日、東京で授与式が行われました。



防火タモ材が採用された  
JR旭川駅舎

## ■ オホーツク「木」のフェスティバルに出展しました

5月18日（金）～20日（日）、北見市のサンライフ北見等において『第27回オホーツク「木」のフェスティバル』が開催されました（主催者発表の入場者数4万6千人）。

林産試験場・林業試験場は、森林・林業や木材に関する研究成果パネルをはじめ、林産試験場が技術移転し商品化された「3Dターニングマシン（CNC木工旋盤）」「ピスタガード（木製ガードレール）」等を紹介するパソコン動画、樹種による色や重さの違いが体感できる「木のダンベル」等を出展しました。また、簡単な木工作「木のしおりづくり」や顕微鏡による木材組織観察なども行いました。

CNC木工旋盤による作品を興味深かそうに手にする人や、しおりづくりに時間をかける家族など、多くの人に足を止めていただきました。



開会式



林業・林産試験場ブース

木のしおりづくり

## 林産試だより

2012年6月号

編集人 林産試験場  
HP・Web版林産試だより編集委員会  
発行人 林産試験場  
URL: <http://www.fpri.hro.or.jp/>

平成24年6月1日 発行  
連絡先 企業支援部普及調整グループ  
071-0198 北海道旭川市西神楽1線10号  
電話0166-75-4233（代）  
FAX 0166-75-3621